

令和6年度

学校法人高水学園
事業報告書

学校法人 高水学園
岩国市尾津町二丁目24-18

I. 法人の概要

(1) 建学の精神

学校法人高水学園は、明治初年、熊毛郡高水村（現周南市）に開設された磨鍼塾を源流とする。村塾以来一貫した建学の精神は、「徳性の陶冶」と「楽学」の実践にあり、勤労を尊び生活は質素であるべきことを教育の指導理念としてきた。今後もこの建学の精神を継承していき、さらに広い世界観に立つ教育を実践していく。

(2) 法人の沿革

明治	31年	4月	山口県高水村新町に就業年限2ヶ年の高水村塾を創設
	32年	11月	私立学校令発布により塾則を制定
大正	9年	4月	修業年限5ヶ年に延長し高水中学と改称
	12年	3月	財団法人山口県高水中学校に移行
昭和	23年	4月	学制改革により山口県高水高等学校に移行、併設中学校は付属中学校と改称
	26年	3月	学校法人山口県高水高等学校、高水高等学校付属中学校と改称
平成	29年	4月	岩国市に学校移転
	34年	4月	校名を高水高等学校・同付属中学校と改称
	46年	4月	法人名を高水学園と改称、岩国短期大学(幼児教育科、英語科)を設立
	56年	11月	岩国短期大学創立10周年記念式典挙行
	10年	10月	学園創立100周年記念式典挙行
	13年	4月	岩国短期大学にビジネス実務科設置
	14年	3月	岩国短期大学英語科を廃止
	18年	4月	ビジネス実務科をキャリアデザイン学科に名称変更
	20年	4月	高水高等学校付属中学校と高水高等学校の一貫教育の施行(学則に規定化する)
	24年	8月	ユネスコスクール認定
令和	25年	3月	岩国短期大学キャリアデザイン学科廃止
	30年	4月	学園創立120周年
	3年	4月	岩国短期大学創立50周年

(3) 校学科の名称・設立月・所在地

令和6年5月1日現在

学校名	設立年月	所在地
岩国短期大学	昭和46年4月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号
高水高等学校	昭和26年3月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号
高水高等学校付属中学校	昭和26年3月	山口県岩国市尾津町二丁目24番18号

(4) 設置する学校学科の入学定員と学生生徒数(単位：人)

令和6年5月1日現在

学校名	学科名	入学定員	入学者数	収容定員	学生数
岩国短期大学	幼児教育科	70	45	140	98
高水高等学校	普通科	280	161	840	428
高水高等学校付属中学校		70	17	210	56

【教職員の概要 専任(非常勤)】(単位：人)

令和6年5月1日現在

学校名	教員数(非常勤)	職員数(非常勤)	合計(非常勤)
岩国短期大学	12(23)	8(8)	20(31)
高水高等学校	31(12)	4(2)	35(14)
高水高等学校付属中学校	10(0)	1(0)	11(0)

(5) 役員等の概要

令和6年5月1日現在

番号	役職別	氏名	経歴(役割)	任期
1	理事長	宮川 明		令和2.6.1～令和6.5.31
2	理事	若本 公夫	岩国短期大学学長 (教学)	令和6.4.1～在職期間中
3	同	高田 美樹	高水高等学校校長・同付属中学校長(教学)	令和4.5.1～在職期間中
4	同	松原 一誠	錦ドリーム開発取締役 (広報担当)	令和2.6.1～令和6.5.31
5	同	富沢 佐一	前中国新聞社客員編集委員 (広報担当)	同上
6	同	宮川 洋	高水高等学校常務理事 (財務担当)	同上
7	同	舘 澄子	高水学園同窓会副会長 (教学指導担当)	同上
8	同	中村 洋子	岩国短期大学副学長 (財務担当)	令和3.4.1～令和6.5.31
1	監事	村元 真澄	村元興業代表取締役	令和2.6.1～令和6.5.31
2	同	稗本 哲也	元高水高等学校事務長	同上
1	評議員	宮川 洋	理事	令和2.6.1～在職期間中
2	同	高田 美樹	理事	令和4.5.1～在職期間中
3	同	中村 洋子	理事	令和3.4.1～在職期間中
4	同	若本 公夫	理事	令和6.4.1～在職期間中
5	同	加藤 善美	前岩国短期大学学長	令和2.6.1～令和6.5.31
6	同	松本 泰行	元高水高等学校教頭	同上
7	同	西村 宏	高水学園同窓会副会長	同上
8	同	宮川 明	理事長	令和3.4.1～令和6.5.31
9	同	松原 一誠	理事	令和2.6.1～令和6.5.31
10	同	富沢 佐一	理事	同上
11	同	舘 澄子	理事	同上
12	同	吉岡 賢一	高水学園同窓会副会長	同上
13	同	玉田 和子	錦病院理事	同上
14	同	前田 茂雄	前高水高等学校校長	令和4.4.1～令和6.5.31
15	同	藤井 明宣	前高水高等学校PTA会長	
16	同	山吹 誠	高水高等学校教頭	令和5.4.1～令和6.5.31
17	同	竹野 博信	岩国短期大学幼児教育科長	同上

(6) 校地校舎等の概要

① 校地等 (令和5年7月1日現在)										
区分	岩国短期大学			高水高等学校・高水高等学校付属中学校			合計			備考
	専用	共用	計	専用	共用	計	専用	共用	計	
所有	34,551.00	0.00	34,551.00	131,763.00	0.00	131,763.00	166,314.00	0.00	166,314.00	
借用			0.00			0.00			0.00	
合計	34,551.00	0.00	34,551.00	131,763.00	0.00	131,763.00	166,314.00	0.00	166,314.00	
最終届出年月日	H21年 12月 28日			R1年 8月 1日			年 月 日			

② 校舎等 (令和5年7月1日現在)										
区分	岩国短期大学			高水高等学校・高水高等学校付属中学校			合計			備考
	専用	共用	計	専用	共用	計	専用	共用	計	
所有	8,705.00	0.00	8,705.00	18,482.00	0.00	18,482.00	27,187.00	0.00	27,187.00	
借用			0.00			0.00			0.00	
合計	8,705.00	0.00	8,705.00	18,482.00	0.00	18,482.00	27,187.00	0.00	27,187.00	
最終届出年月日	H17年 5月 31日			H29年 7月 13日			年 月 日			

II. 事業の概要

■【法人全体】

文部科学省の「CT 教育整備事業」「学校保健特別対策事業」等に参画した。また、教育振興寄付金活動には継続して取り組み外部資金の獲得に努めた。

■【短期大学】

1. 保育のスペシャリストを養成し、地域に信頼される特色ある短期大学づくり

本学の建学の精神は、「楽学」である。この建学の精神「楽学」に基づき、教育理念と幼児教育科の教育目的を次のように定めている。

<教育理念>

- ・徳性の陶冶を重んじ、人間性を練り鍛え、豊かな人間形成を図る。
- ・地域に生きて働く人材を養成する。

<幼児教育科教育目的>

保育に関する実践的な知識と技能を協働的な学びの環境において主体的に習得し、課題解決能力と創造力、コミュニケーション能力を会得させ、ボランティア活動などの地域貢献を通して敬愛の精神の練成を図り、学生自らの徳性の陶冶を通じて保育者としての使命感を持ち、社会的に有為な人物となるように指導することを教育目的とする。

建学の精神に基づく教育目的を達成するために、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格の取得、それに伴う身につける資質・能力を4つの学習成果として定め、保育のスペシャリストの養成を念頭に、学生にその自覚と意識を常に覚醒させるべく具体的な教学活動を実施していく。

【幼児教育科の学習成果】

保育者としての専門的な知識と技能	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者としての専門的な知識や技能を習得している。 ・保育現場で生かす実践力が身についている。
表現力とコミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽・造形・身体表現等の基本的な技能を身につけ豊かに表現することができる。 ・他者との円滑なコミュニケーションを図りながら、問題を解決することができる。 ・社会人として求められるコミュニケーション能力や、基本的な礼儀作法を身につけている。
責任感と協力性	<ul style="list-style-type: none"> ・授業や行事等に積極的にかわり、一つの目標に向かって協働して取り組むことができる。

地域貢献と敬愛の精神

・ボランティア活動や行事への積極的な参加を通して地域社会に貢献することができる。

その他、基礎科目において、高等教育における基礎的学力を保証するために、基礎ゼミナールを開設し、教養科目においては幼児教育を包括的に支える講義内容を提供する。これらの教養教育を通じて正しい人生観と開かれた社会性を持った職業人として生きる誇りと自覚を与える。

本年度の最優先課題は、学生募集であり、効果的な広報活動とオープンキャンパスの充実を図っていく。また、幼児教育科単科の短大として山口県東部地区における地域の活性化に貢献する地域貢献事業を継続して展開していくことである。この事業展開の中で地域の本学における認知度を向上させることで、本学への進学率を高めることと、地元保育関係者の本学への信頼に基づく就職などの協力体制を確かなものにしていくことをめざす。

地域貢献事業は、次の項目を中核として展開していく。

- ◆「岩国子育て支援ネットワーク(lwatan 子育て愛ねつとアカデミー)」の事業の推進
- ◆岩国市、岩国商工会議所との連携協定の事業の推進
- ◆高大連携協定校との事業の推進

18 歳人口の減少が著しいなか、本学は単科の短期大学として他に類を見ない事業展開を通じて、その真価を発揮するとともに地域に根差して共に働く人材を養成していく。

次に、地域の特色を生かした多文化共生の実現をめざす教育を行う。岩国市における保育現場では、外国籍の子どもの増加に伴い、多文化共生保育に対応できる保育者のニーズが高い。本学は、地域の保育現場からの要請に応えるべく、語学力や多文化共生の理解力に優れた学生を養成していく。

さらに、継続してICT教育の推進をはかることによって、学生の「情報活用能力」や「創造力」を培っていく。

2. 令和6年度基本方針と取り組み

-質の高い教育の実践と地域密着の短期大学-

(1) 保育のスペシャリストを養成

【保育者としての専門的な知識と技能】

- ① 「お店屋さんごっこ(1年)」-「大学祭・キッズルーム(1年)」-「lwatan親子フェスタ(1・2年合同)」の系統的な実施
 - ・「お店屋さんごっこ」は6月28日に開催した。
 - ・「大学祭・キッズルーム(1年)」は11月17日に開催した。
 - ・「lwatan親子フェスタ(1・2年合同)」は令和7年3月9日に開催した。(来場者数:385組、1,310人)
- ② 教育・保育実習の充実
 - ・実習事前指導として、絵本100冊読み等の取り組み、保育現場でよく使う漢字テスト、手遊び歌、パネルシアター、素話等を実施した。
 - ・実習評価1、2の学生への個別指導を実施した。
 - ・自主実習を推奨した。
 - ・教育・保育実習連絡協議会をハイブリット(対面とオンライン)方式で実施し、実習引き受け園・所との連携を図った。
 - ・施設実習連絡協議会をオンライン(zoom)で実施し、実習引き受け施設との連携を図った。
 - ・ようこそ先輩！保育実践力養成講座(保育所・認定こども園編)、ようこそ先輩！保育実践力養成講座(幼稚園・認定こども園編)、ようこそ先輩！保育実践力養成講座(施設編)の講座を実施した。
 - ・インターンシップ実習を長期休暇に推奨した。
- ③ 就職支援の充実
 - ・就職支援システムの推進
 - 「プレカレッジ」-「新入生研修会」-「基礎ゼミナール」-「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」-「保育・教職実践演習研究発表」-「フォローアップセミナー」・「卒業生対象保育実践研修会」において入学前から卒業後までの一貫した就職支援を実施した。主な取り組みは次のとおりである。
 - * 入学予定者を対象とした「プレカレッジ」(入試広報センター主催)
 - * 入学直後の「新入生研修会」、1年生前期「基礎ゼミナール」、1年生後期、2年生前・後期の「キャリア開発Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」等による職業教育
 - * 2年生前期に現職園長による面接指導講座により、実際の面接を想定して対策した。
 - * 卒業後3ヶ月目に「フォローアップセミナー」を対面で開催でき早期離職防止の対策となった。

*「ようこそ先輩!保育実践力養成講座」を開講し、保育・福祉現場では活躍している卒業生を講師として招き、就職体験講話・ピアノの弾き歌い、ワークショップ等をとおして、保育実践力や学生の就職意識が高まっていこう努めた。講座概要は以下のとおり。

・東部校訓練生の受け入れと就職ガイダンスの実施

例年山口県立東部高等産業技術学校の保育士養成科の訓練業務及び就職支援業務委託制度を利用した社会人を受け入れている。年3回の就職ガイダンスを実施し、日々の保育職への就職支援を行い、希望先に就職できた。

・就職面談、面接指導の実施

キャリア支援センター職員が進路希望調査に基づき、全学生を対象に1回20分程度の就職個人面談を行っている。学生が利用しやすいようにネットでの面談予約システムを実施した。また学生が積極的に自分自身の就職活動を進めていくために報告・連絡・相談を重視した支援を行った。

・就職試験対策講座の実施

山口県私立幼稚園協会、岩国私立幼稚園協会等が実施する適性試験の対策として、就職試験対策講座を次の通り計画し開講した。

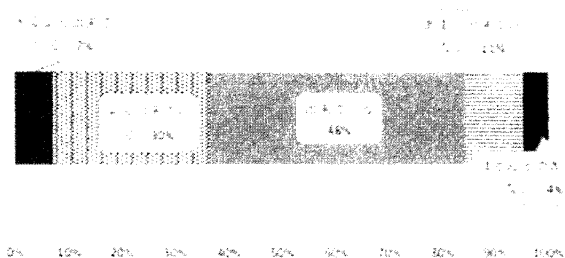
	月日	曜日	時間	内容	対象	担当
1	4月9日	火	5限	講座の説明会・保育で使う漢字 就職試験傾向と対策1 資料1-【1】【2】	全員	竹野 佐々木
2	4月16日	火	5限	就職試験傾向と対策3 資料1-【7】【11】	全員	水鷄口
3	4月25日	木	4限	就職試験傾向と対策4 資料1-【3】【12】	全員	船原
4	5月7日	火	5限	就職試験傾向と対策5 資料1-【8】【9】	全員	朝倉
5	5月21日	火	5限	就職試験傾向と対策6 資料1-【10】 造形(実技)	全員	鷺崎
6	5月27日	月	4・5限	ピアノ発表練習①	岩国市	赤川
7	授業内			就職試験傾向と対策2 資料1-【4】【5】【6】	全員	荒谷
8	6月10日	月	4・5限	ピアノ発表練習②	岩国市	赤川
9	6月20日	木	4限	身体表現(体育)実技(服装:体操服)	岩国市	西本
10	授業内			論作文	全員	宮下
11	授業内			岩国市私立幼稚園試験直前確認 課題曲(ピアノ実技模擬試験)	岩国市	赤川 井上
12	6月27日	木	4限	就職試験対策講座直前指導	岩国市	佐々木 松野
13	6月28日	金	4・5限	ピアノ発表練習③	岩国市	赤川

・卒業生就職先アンケートの実施による教育・就職支援の改善

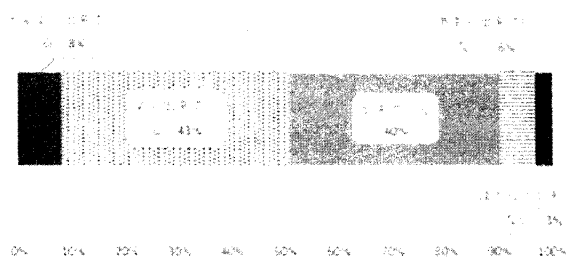
教育・就職支援の自己点検・評価活動のために、卒業生就職先へのアンケートを実施している。本学の学習成果「保育者としての専門的な知識と技能」に関すること、「表現力とコミュニケーション能力」に関すること、「責任感と協力性」に関すること、「地域貢献と敬愛の精神」に関すること22項目無記名方式で、5段階評価で回答を得た。アンケートの結果は内容ごとに集計し、その結果を教授会等で報告し、全員で学習成果の点検に活用した。

本学では、卒業生の就職先事業所に対して、本学の教育活動や在学中の学びを通じて得た4つの資質・能力を就職先でどのように発揮できているかの観点から卒業生に対する評価を聴取し、教育課程の見直しや質の向上に活用するアンケート調査を行っている。

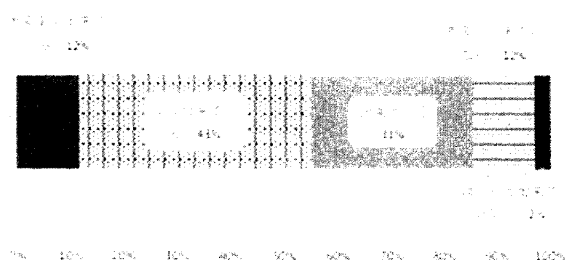
保育者としての専門的知識と技能



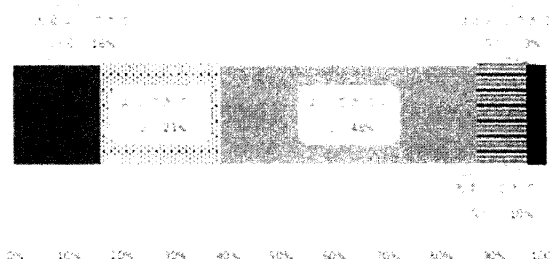
表現力とコミュニケーション



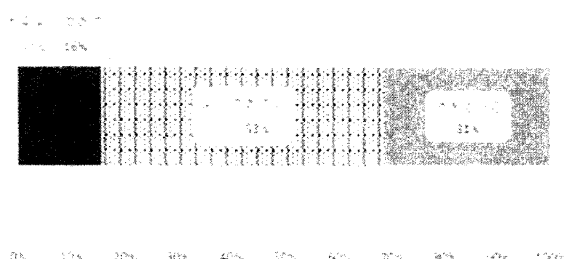
責任感と協調性



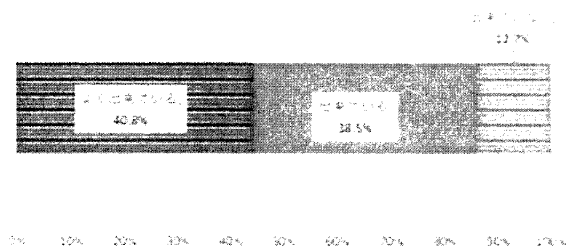
地域貢献と敬愛の精神



マナー



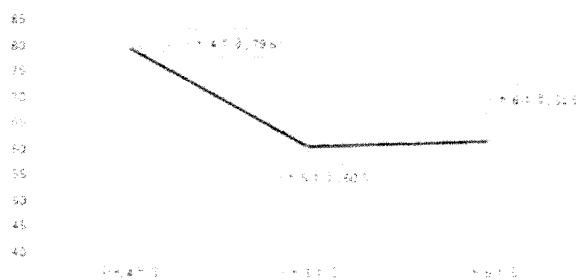
総合評価(就職先)



アンケート送付件数

調査年度	回答率(%)	卒業生(人)	送付件数(件)	回答数(件)
令和4年度	79.6	57	49	39
令和5年度	60.5	51	38	23
令和6年度	61.5	58	52	32

アンケート回答率(%)



・県内就職率向上のための取り組み(就職開拓訪問、「就職ナビ in いわたん」)

- * 毎年「就職開拓訪問」を実施している。新卒者の就職先を専任教職員が訪問し、卒業生との面談を行い、状況を把握したり、園長等から本学への要望等を聴取したりすることで連携を深め、就職に繋げている。
- * 「就職ナビ in いわたん」を県内東部地区及び学生の居住地域である広島県西部地区の幼稚園・保育所・認定こども園・施設、の合同説明会を実施した。

【表現力とコミュニケーション能力】

① ウィンターコンサート、卒業記念コンサート等の実施

ウィンターコンサート、卒業記念コンサート等の実施により、表現力の育成に努めている。本年度のウィンターコンサートは、音楽科の教員の指導のもと、実行委員が中心となり、全学生がクラスごとに協力して練習に

取り組み、演奏発表を行うことができた。また、学位記授与式では、卒業記念コンサートを開催し、選抜された学生による演奏発表を行うことができた。

② 現場に即した幼児体育の模擬授業や1・2年生合同運動会の実施

「幼児体育Ⅰ・Ⅱ」の授業では、保育実践力を身につけるための模擬授業や1・2年生合同運動会の取り組み等、現場に即した内容を多く取り入れ、実施している。合同運動会では、チームごとに他者とのコミュニケーションを図りながら創意工夫を行い、大きな成果が見られた。

③ 「クリエイティブ・ムーブメント」による本学独自の自己表現力育成教育の推進

「クリエイティブ・ムーブメント」では、本学独自の自己表現力育成教育を行っている。総合的な表現教育として、自己表現の方法や意義の理解、コミュニケーション能力の向上をめざし、授業以外でもオープンキャンパスの学科紹介や清流祭の劇発表で成果が見られた。

④ 中・四国保育学生研究大会への継続的な参加

本年度は12月1日に広島女学院において第65回中・四国保育学生研究大会が開催された。保育研究クラブのメンバーで研究を進め、成果としての劇発表を行い、表現力を高めることができた。

【責任感と協力性】

① 協力的な学習・行事への取り組み(「お店屋さんごっこ(1年)」-「大学祭・キッズルーム(1年)」-

「lwatan親子フェスタ(1・2年合同)」の実施、1・2年生合同運動会、1・2年生実習合同学習会等)「お店屋さんごっこ」、大学祭の「キッズルーム」、「lwatan親子フェスタ(1・2年合同)」は予定通り実施することができた。また、1・2年生合同運動会、1・2年生実習合同学習会も実施し、これらの活動を通して、一つの目標に向かって協働して取り組むことができた。

② 中・四国保育学生研究大会への参加

本年度は12月1日に広島女学院において第65回中・四国保育学生研究大会が開催された。保育研究クラブのメンバーで研究を進め、成果としての劇発表を行い、表現力を高めることができた。

【地域貢献と敬愛の精神】

① 岩国子育て支援ネットワーク(lwatan子育て愛ねっとアカデミー)の事業の充実

・第14回「lwatan親子フェスタ」の開催(3月)

3月9日(日)10:00~14:30と開催、来場者数は385組1,310人と年々増加し、地域に定着してきた。

・「lwatan親子広場」の開催(年間6回)

令和6年度の「lwatan親子広場」実施状況及び参加者数は以下のとおりである。

	開催日	タイトル 講師	参加 親子 組数 (組)	大人 の 人数 (人)	子 ど も の 人数 (人)	合計人数 (大人+ 子ども)	学生ボラ ンティア (人)
第1回	5/11 (土)	走って、跳んで！楽しい運動あそび 講師：岩国短期大学 西本裕子 赤川優子	9	13	15	28	10
第2回	6/15 (土)	親子でワクワク表現遊び へなりきり遊びを楽しもう～ 講師：岩国短期大学 朝倉なごさ 宮下小百合	18	21	31	52	10
第3回	7/6 (土)	英語リトミック 講師：岩国短期大学 井上美佳 佐々木和美	18	22	32	54	8
第4回	8/4 (日)	「えーどうして？」 親子で楽しむ科学実験 講師：岩国短期大学 水嶋口陽一 佐々木和美	18	30	30	60	9
第5回	9/21 (土)	ようこそ絵本の世界へ 講師：岩国短期大学 荒谷容子 松原将太	17	23	34	57	8
第6回	10/20 (日)	描く・切る・貼るを楽しもう 講師：岩国短期大学 井上美佳 鷲崎公彦	16	20	27	47	5
合計 人数			96	129	169	298	50

・岩国市との共同開催による保育者対象研修会の実施(年間 2 回)

本学を会場とする岩国市との共同開催による頼澳社対象研修会は、年間 2 回開催しており、全学生及び全教員も受講することとし、以下の通り開催した。

回	開催日時	演 題	講 師 名
1 回	7 月 27 日(土) 14:00~15:30	気になる子どもの保護者支援	山口県乳幼児の育ちと学び支援センター スクールソーシャルワーカー 田村 真由美 先生
2 回	1 月 25 日(土) 14:00~15:30	僕の働きかけを振り返る	社会福祉法人はるか はるかこどもの相談センター 公認心理士 大津 秀隆 先生

② 岩国市、岩国商工会議所との連携推進

岩国市との連携推進会議を 6 月 27 日(木)に開催した。これまでの実施状況について、岩国市の各部署と本学から報告し、今年度の取組についても意見交換を行った。本学が行う生涯学習公開講座や地域の子育て世代を対象とした保育者対象研修会等、岩国市と協力し実施できている。

岩国商工会議所との推進会議を 7 月 23 日(火)に開催した。岩国商工会議所が主催する「岩国祭」への学生ボランティア参加や「lwatan 親子フェスタ」への販売ブース等の出店協力関係も継続できている。今年度は新たに 2 件の連携協定を締結した。以下に連携先との概要を示す。

* 岩国幼稚園協会及び岩国市保育協会との連携協定を 6 月 20 日(木)に締結した。それに合わせて第 1 回の推進会議を 6 月 20 日(木)に、第 2 回の推進会議を 11 月 5 日(火)に開催した。具体的な取組内容(仕事の魅力発信・質の高い保育者の養成・保育者の資質向上・学術研究・人材確保等)の項目ごとに意見交換を行った。保育者のインターンシップ制度の検討や三者連携になるよう今後の取組の検討を行った。

* 和木町との包括連携協定を 2 月 26 日(水)に締結した。その後、連携推進会議を行った。和木町の各部署から、今後の具体的な取組の提案があり、現状の取組内容と合わせて今後の実施に向けての検討課題とした。

③ 高大連携協定校との連携推進

高大連携協定校 7 校との推進会議を 2 回ずつ開催することができた。また、高大連携プログラムによる出前授業を協定校、協定校以外の高校で実施することができた。実施状況は以下のとおりである。

【高大連携協定校】

高等学校名	第 1 回推進会議	第 2 回推進会議	出前授業回数
山口県立岩国総合高等学校	6 月 13 日(木)	1 月 28 日(火)	1 回
山口県立岩国商業高等学校	6 月 25 日(火)	2 月 18 日(火)	6 回
山口県立高森みどり中学校 高森高等学校	6 月 25 日(火)	2 月 21 日(金)	中学校 2 回 高校 8 回
広島県立大竹高等学校	7 月 2 日(火)	3 月 4 日(火)	3 回
山口県立熊毛北高等学校	7 月 4 日(木)	2 月 10 日(月)	1 回
山口県立熊毛南高等学校	7 月 9 日(火)	2 月 26 日(水)	3 回
山口県立周防大島高等学校	6 月 26 日(水)	1 月 29 日(水)	-

【その他の高等学校】

高等学校名	出前授業回数
山口県立田布施農工高等学校	4 回
山口県立新南陽高等学校	2 回

3 月 9 日(日)に開催した「第 14 回 lwatan 親子フェスタ」では、各高校がブースを出展したり、ブースでの活動援助を行ったりしてブースを盛り上げていただいた。

④ 学生ボランティア活動の推奨

・「学生ボランティア活動記録」の記入

学生全員に「ボランティア活動記録カード」を配付し、学生自らボランティア活動記録を記入している。ボランティアの活動時間数などにより表彰制度を設けているため、学生のモチベーションにもなっている。また、記録カードはボランティア活動への意識づけとしている。

・年間最低 2 回のボランティア活動の義務化

本学に依頼がある地域からのボランティアの他、1 年生は年間 6 回開催する「lwatan 親子広場」に参加し、併せて年間 2 回以上のボランティア活動に参加することを義務化している。

・宮川澳男賞、地域貢献奨励賞の表彰

宮川澳男賞、地域貢献奨励賞受賞学生の選出について、受賞候補となる学生として、46 時間以上の地

域社会への貢献活動に参加していることとしている。地域貢献奨励賞を受賞する学生の中からボランティア活動に特に積極的であった学生2名を宮川澳男賞に選出し、学位記授与式に表彰している。近年の実績は、次の表のとおりである。

受賞者数 (宮川澳男賞2名を含む)	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	17人	39%	24人	46%	24人	46%	18人	34%

⑤ 生涯学習公開講座の開催(年2回:前期・後期)

・専任教員による専門性を生かした講座の開講(前後期合わせ6講座以上)

生涯学習公開講座は、地域市民のために年間、前期と後期に分けて開設し、専任教員の専門分野を生かした内容となっている。本年度は前期3講座、後期3講座を計画し募集したが、前期3講座、後期2講座の実施となった。実績は次のとおりである。

【前期】

講座名	受講人数
楽しい声楽 ～歌曲からオペリアリアまで～	20名
アメリカ文化講座 ～英語で楽しむアメリカンカルチャー～	11名
初心者のためのピアノ ～もしもピアノが弾けたなら～	22名

【後期】

講座名	受講人数
アメリカ文化講座 ～英語で楽しむアメリカンカルチャー～	11名
初心者のためのピアノ ～もしもピアノが弾けたなら～	19名

⑥ 1・2年合同集会の実施(年4回)

1・2年生との親睦を図り、敬愛の精神を育成するために実施している。実施日内容は以下の通りである。

実施日	4月19日(金)	6月21日(金)	10月4日(金)	11月16日(土)
内容	校歌指導 めざす学生像とは	ミニインドア・アスレチック	障害者スポーツ レクリエーション	校歌指導 建学の精神を考える

⑦ 地域・社会への貢献

広島広域補助金事業である「錦川清流線と錦川流域における地域資源の活用による子育て世代を支援する新たな観光イベントの開発と地域活性化への取り組み」をテーマとする教育研究活動に基づいて、「親子で一日アドベンチャー」の企画実施に取り組み、産学官連携システムの構築を目指した。

イベント概要としては、参加対象を3歳から小学校3年生までの親子を対象としたアドベンチャーツアーを3回企画し、ねらいを「子どもたちが自然体験で五感を感じられる遊びを楽しく行う」として取り組んだ。

○Aコース 2024年9月8日(日)「とことこトレインと羅漢高原アクティビティ」

○Bコース 2024年10月6日(日)「里山の恵み収穫体験と宝探し」

○Cコース 2024年10月26日(土)「週末ぶら～り! 秋の味覚と木工体験」

初めての地域活性化イベントの経験で企画準備が短時間であり、地域の方々との打ち合わせがしっかりとできなかったが、それにもかかわらず、多くの方に支援していただき手助けいただいた。今後の課題としては、次のことがあげられる。

- 学生が主体的に取り組み、地元の方と意見交換ができる時間をつくる。
- 地域が地元の良さを再確認し、自主財源を生み出すシステムを考える。
- 得られた地域の魅力や知識、地域とのつながりを活性化させる。

(2) 入学定員確保

① 魅力あるオープンキャンパスの実施

・オープンキャンパス強化プロジェクトの推進

月1回開催するOCP(Open Campus Project)会議では、学生募集に繋げるための魅力あるオープンキャンパスにむけた戦略の立案、年間計画やオープンキャンパスの実施要項の策定を行っている。また、オープンキャンパスに参加した高校生、保護者の方に本学を理解してもらうために、内容を充実させるための協議を重ねている。実施後はオープンキャンパスニュースを作成し、学内(学生・教職員)へ発信している。また、出身校別のキャンパスメイトを掲載したチラシを作成し、各高校へ配付することで参加者の増加に努めている。

・年間8回のオープンキャンパス(1回は社会人向け)の実施

令和6年3月、6月、7月、8月、9月、10月、11月、12月の計8回実施した。12月は社会人の方も参加しやすいように「Xmas ナイトオープンキャンパス」として夕方から開催した。日程とテーマは以下のとおりである。

回数	日程	テーマ	参加人数	保護者人数
1	3月20日(水・祝)	いわたんへようこそ～楽しい授業体験～	8名	5名
2	6月15日(土)	楽しいピアノ体験♪	21名	10名
3	7月6日(土)	保育者の仕事～卒業生に聞いてみよう～	24名	15名
4	8月4日(日)	保育の魅力を知ろう	25名	9名
5	9月21日(土)	幼児と遊ぼう	17名	11名
6	10月20日(日)	模擬授業を体験しよう	6名	3名
7	11月17日(日)	清流祭を楽しもう	8名	2名
8	12月21日(土)	Xmas ナイトオープンキャンパス	0名	—

社会人向けに開催した12月のオープンキャンパスは参加者がいなかった。告知について検討が必要である。

・広報活動の充実(SNSの活用、高校訪問等)

令和6年度より、SNS(Instagram)を活用した広報活動を開始した。入試広報センターの教員の指導者のもと、担当学生が各種イベントなどを撮影・編集し学生目線で投稿した。また、教員による高校訪問、高校内および会場ガイダンス等では、本学の説明とともにオープンキャンパスのチラシの配布と呼び掛けを行った。

・表現力を生かした学生による学科紹介の取り組み

学生による学生発表では、学生が授業を通じて培った力を発揮し、創作劇、楽器演奏などの発表、また図画工作で学んだ技術を生かし高校生との製作ワークショップなどを行った。

・現役の卒業生を招いてのオープンキャンパスの実施

第3回「保育者の仕事～卒業生に聞いてみよう～」では、本学の卒業生である現役保育者を招いて、実際の保育の現場での話や仕事のやりがいについて学ぶ機会を設けた。手遊びや子どもと遊べるおもちゃの製作を行った。

② 本学独自の奨学金制度の拡充

・高大連携協定校に対する奨学金制度

高大連携協定校からの意思ある学生を迎えるため「高大連携協定校奨学金」を整備しており、協定校在籍の生徒が学校推薦型選抜(指定校推薦)によって受験し、合格した場合には入学金を半額免除することとしている。令和6年度入学者選抜においては4名の受験者がこの奨学金の適用を受けた。

・指定校に対する学校推薦型選抜(指定校推薦)成績優秀者奨学金

指定校から意欲ある学生を迎え入れるため「学校推薦型選抜(指定校推薦)成績優秀者奨学金」を整備しており、令和6年度入学者選抜においては、全額免除者(評定平均値4.5以上)6名、半額免除者4名が適用を受けた。

・多様な能力や資質、個性を持った受験者に対する総合型選抜特別奨学金

総合型選抜の受験合格者のうち、成績上位者から5名まで「総合型選抜特別奨学金」として入学金全額または半額免除している。令和6年度入学者選抜においては、3名が半額免除対象者となった。

・卒業生子女等に対する卒業生子女等進学支援奨学金

令和6年度においては対象となる卒業生子女は在籍しなかった。

・遠隔地出身学生に対する遠隔地出身学生生活支援奨学金

本学が指定する遠隔地出身で一人暮らしをしている学生3名に「遠隔地出身学生生活支援奨学金」として1か月につき1万円の授業料免除を行った。

・経済的困窮家庭に対する修学支援奨学金

学費負担世帯の総合収入が300万円以下の経済的困窮家庭に対する支援として前期8名、後期5名に「修学生支援奨学金」として授業料の半額免除を行った。

・社会人の学び直しや就学を支援するための社会人進学支援奨学金

令和6年度においては対象となる社会人は在籍しなかった。

・高水高校出身学生及び沖縄県出身学生のための優遇制度

同一法人内の高校である高水高校からの入学者には入学金の全額免除の優遇制度を設けている。令和6年度においては4名にこの制度を適用した。また、沖縄地区からの入学者確保のため「沖縄地区選抜」を設け、合格者には「沖縄県特別学費」を設定している。令和6年度においては受験者がいなかった。

③ 中・高大連携授業の推進

・「保育者をめざす高校生のための高大連携授業プログラム」のパンフレット配布と実施

令和6年度版「保育者をめざす高校生のための高大連携出前授業プログラム」のリーフレットを作成し、各高等学校へ配布して利用を呼び掛けた。本学の高大連携協定校においては計24回、連携協定校以外でも3校計7回実施し、出前授業の機会を多く持つことができた。

・高大連携協定校の開拓

星槎大学(通信制課程)との連携協定(令和6年10月25日調印)により、教育連携校として、令和7年度より小学校教諭二種免許状及び特別支援学校教諭二種免許状の取得が可能となった。

・高水高等学校等の単位互換制度の継続

令和3年度より高水高等学校との単位互換制度が始まった。本年度は14名の高水高等学校3年生を本学科目等履修生として認定したが、本学への進学はなかった。来年度は、高水高等学校科目『幼児教育演習Ⅱ』に2名、『英語演習Ⅰ』に3名の高水高等学校生徒が本学の科目等履修生として認定され、学習を進める。また、来年度より、高水学園法人内での連携強化の一環として、高水学園高大連携プログラムを実施することになった。高水高等学校普通科キャリアデザインコース・こども教育系の2年生の生徒を対象に、「子ども文化Ⅰ」の21回分の授業を本学教員が担当し、保育・教育の魅力を深める取り組みとなる予定である。

・高水高等学校との推進協議会の推進(合同研修会、合同オープンキャンパスの実施)

高水高等学校との連携を深めるために、お互いの研修を案内する取り組みを行っている、また、高水高校・附属中学校と合同で経営財務状況等の改善に関する説明会およびSWOT分析を行う高水学園合同研修会を行った。また、オープンキャンパスについては8月4日に短大・高校での同時開催を実施し、短大の教員と学生が高校のオープンスクールに出向き、保育の魅力を参加生徒に発信することができた。

・高大連携協定校へのlwatan親子フェスタへの協力依頼による連携強化

協力依頼の状況は以下のとおりである。

ブースへの参加校:3校

高等学校名	ブース名
高水高等学校	縁日コーナー
山口県立高森高等学校	ベルを作ろう
山口県立岩国総合高等学校	宝石屋さん

ボランティアへの参加:5校

高等学校名	参加人数
山口県立熊毛北高等学校	2名
山口県立熊毛南高等学校	2名
山口県立周防大島高等学校	4名
山口県立岩国商業高等学校	2名
広島県立大竹高等学校	2名

3月9日(日)に行われた第14回lwatan親子フェスタでは3校がブースを出店、5校がボランティアでカプラやシャボン玉博士のブース活動支援として参加しフェスタを盛り上げていただいた。また本学入学予定者だけでなく、1・2年生が参加してくれたことで今後の連携の強化に繋がった。

(3) 教職員の資質向上

①FD研修による授業改善

FDはFaculty Developmentの略で「教育内容・方法等をはじめとする研究や研修を大学全体として組織的に行うこと」である。具体的な取り組みとして、①「教員の研究能力や教育能力の開発」、②「教育システムの開発(カリキュラム・授業評価などの仕組みをつくること)」、③組織開発(教育研究組織などをベストな形にすること)」があげられる。今年度は、教員授業相互参観(前期・後期ピアレビュー)による授業改善を推進する(関連①)、学生による授業アンケートから授業改善を推進する(関連①)、教職協働体制づくりのための研修を推進する(関連②・③)を目標に取り組んだ。

FD研修は毎月1回、学内研修会という形で実施した。

実施日	研修内容
4月24日(水)	年間活動の説明、巡回実習指導報告書の書き方(実習委員会共同開催)
5月22日(水)	研究倫理についての研修(倫理委員会共同開催)
6月26日(水)	ティーチング・ポートフォリオについて(教務部共同開催)
8月7日(水)	自己点検評価全体研修会(自己点検評価委員会共同開催)
8月28日(水)	多文化共生保育に関する研究発表
9月11日(水)	講師招聘研修「授業改善について」講師 半田光紀(広島県教育委員会)
10月30日(水)	シラバス作成の研修(教務部共同開催)
11月29日(水)	情報教育に関する研修(情報機器管理室共同開催)
12月4日(水)	ウィルス感染予防研修(教授会前に開催・教職員研修会)
2月19日(水)	ピア・レビュー、授業評価アンケートについてのまとめ、1年間のまとめと次年度への課題・要望

FD 研修会に加え、教員授業相互参観(前期・後期ピア・レビュー)により、授業改善を推進した。結果、前期・後期 100%全教員が実施した。FD 研修会ではピア・レビューについての研修も実施した。また、ピア・レビューが個人の感想で終わりがちであるという課題に対し、観点を明確にする必要があったため、ピア・レビュー記録用紙の改定も行っている。その結果、記述内容が具体的に、前期・後期共に 100%実施を達成できた。今年度の振り返りも教員全員で行い、授業を評価してしまう傾向にあり、どの部分を自身の授業改善に役立てるのかという点について考察されていないことが課題であると。次年度はこの点を意識し、取り組んでいく所存である。

学生による授業評価アンケートも実施し、学生の授業満足度を調査している。教員全員に授業評価アンケートを実施し(専任教員は前期後期、兼任教員は年に1度)アンケート結果から、授業評価報告書を作成している。専任教員実施 100%、兼任教員実施 100%、授業評価報告書提出 100%である。授業評価結果から、授業改善の具体的な課題が明らかになった。なお、学生の授業満足度(最大値 4) 1年生 3.58 2年生 3.7 という結果である。全体的にも満足度が高いと言える。昨年度との比較では、昨年度の1年生 3.64 が2年生で 3.7 と高い値を保っている点が評価できる。また授業別にみると、本年度も学生の授業満足度の項目で4(全員大変満足である)の科目があった。学生の授業満足度を維持するよう、今後も授業改善に取り組んでいく。

②SD 研修の充実

SD 活動は、「岩国短期大学 SD 実施委員会規程」により毎月1回の定例委員会を開催し、事務局の業務の見直しや事務処理の改善等、事務職員の能力開発等を行っている。さらに、学外研修参加後には、学内での報告会を実施し、情報の共有に努めている。SD 研修会は、事前に事務職員全員に対し、今後必要と思われるスキル等についてアンケートを行い、それを参考にしながら実施している。本年度の SD 研修会の実施状況は次のとおりである。

月日	研修内容
4月1日(月)	「窓口対応マニュアル」の活用について
4月11日(木)	「学生の支援」について(前期)
8月21日(水)	経営・財務状況等経営改善に関する説明会
9月13日(金)	「学生の支援」について(後期)
9月13日(金)	情報セキュリティ研修(1)
10月10日(木)	入試業務について
12月4日(水)	「情報セキュリティ・リテラシー」研修会
2月6日(木)	「窓口対応マニュアル」の見直しについて
2月6日(木)	情報セキュリティ研修(2)

③教職員合同研修会の実施(SWOT 分析、財務状況説明会、ハラスメント研修会 等)

教職協働の観点から、本学の教育推進及び教職員の資質向上を目的として、教職員合同研修会を次のとおり実施した。なお、本年度も岩国短期大学・高水高等学校合同の「SWOT 分析」の研修を行った。

令和6年度教職員合同研修会

月日	内容
8月7日(水)	自己点検・評価教職員全体研修会
8月21日(水)	経営・財務状況等経営改善に関する説明会 高水学園合同研修会「SWOT 分析」
9月4日(水)	ハラスメント研修会
12月4日(水)	情報セキュリティ・リテラシー 感染症の予防について

④自己点検・評価活動の推進(PDCA サイクルによる教育の質の保証)

・「学校運営方針」の策定と反省総括

本学では、幼児教育科の教育活動組織及び教職員学内運営組織により、PDCA サイクルを用いて自己点検・評価活動に取り組んでいる。本年度は、昨年度の反省総括を踏まえ、年度初めに「学校運営方針」を策定し、具体的な実践を行った。各部、委員会等で、実施した結果のデータやステークホルダーによる評価などを収集、分析し、3月に反省総括を行った。

・IR推進室によるデータの収集と分析

「学力の追跡調査」を中心にデータ収集と分析を行った。データ収集については学習成果個人 Check カード、GPA 値、退学者数等を主なデータとし、分析については高校別、選抜別に集計・分析を行った。学習成果の獲得状況については、1年前期から1年後期、2年前期にかけ、降下傾向となり、2年次後期には学習成果の向上が見られる結果となった。

(4) ICT教育の推進

・ICT教育を活用した授業の推進

「岩国短期大学 ICT(情報通信技術)活用スキル習得プログラム」を引き続き推進し、活用スキルの向上と授業改善に取り組んでいる。特に、コアカリキュラム対象科目を中心に、担当教員が授業で学生の活用スキル向上に役立つ実践的な活動を取り入れるなど、講義の工夫を行っている。

・「Web 版実習サポート」「Web 版施設実習サポート」の活用

「Web 版実習サポート」として、実習中の毎日の勤務状況を確認し、問題が生じた際には学生や実習先への速やかな対応ができた。

・Google Classroom を活用した授業支援

対面での実習ができない場合を想定し、学内実習での対応できるよう Google Classroom を活用し、専任教員が担当科目の演習ビデオを作成しサポートできるよう準備した。

・LINE を活用した就職支援の推進

キャリア支援センターでは、卒業後の就職支援に LINE を開設し、卒業後気軽に相談できる窓口や短大の情報発信や連絡の手段として活用している。早期離職防止対策で開講する「フォローアップセミナー」の案内や実施後のアンケート結果報告、また、「卒業後のアンケート」の連絡では、回答率向上につなげたことで、回答内容を今後の学校教育にも反映していきたい。さらに、山口県立東部高等産業技術学生への毎月の就業支援には、勤務時間に配慮しながらの状況確認をすることができ定着支援につながった。

(5) 多文化共生保育の実現に向けて

・岩国市内の園や基地内幼稚園との関係構築

本年度は、短期大学研究グループが、岩国市幼稚園協会の研修会において「岩国市における多文化共生保育実現のための基礎調査実施報告」として報告を行った。基地内幼稚園との連携は進められなかった。

・「特別活動Ⅰ」「特別活動Ⅱ」における異文化交流の授業の実施

本年度は、9月26日(2年生)及び1月6日(1年生)に、「特別活動Ⅰ・Ⅱ」として、浜桐陽子非常勤講師による多文化共生の授業を行った。講義や演習を通して学生は多文化共生社会における幼児教育について学ぶことができた。また、本学研究グループの研究成果より、「多文化共生保育」に特化した本学独自科目の必要性が挙げられたことから、検討の結果、来年度より1年生教養選択科目として「多文化共生保育論」(講義・2単位)を新設することになった。

・教育課程の見直し

本学研究グループの研究成果により、「多文化共生保育」に特化した本学独自科目の必要性が導き出されたことから、来年度より1年生教養選択科目として「多文化共生保育論」(講義・2単位)を新設することになった。

・英会話力の向上

特別な取り組みは行うことができなかったが、来年度より新科目「多文化共生保育論」の中で英語を含む異文化コミュニケーションのためのツールとして向上に取り組むことになった。

(6) 感染症対策室を中心とした健康・安全な学校生活の運営

・感染症への迅速な対応

マスクの着用等は個人の判断に任せているが、学内の消毒液は、未だ不安を感じる学生もいることから、各棟入口のみアルコール消毒を配置している。行事等では、換気に心掛け感染症対策を行った。また、感染が広がる時期には、ノロウイルス対策研修会や手洗いによる感染予防について学生及び全教職員に周知し、安心な教育環境づくりに努めた。

・学生への配慮

インフルエンザや新型コロナ感染症に罹患した場合、治癒後に「治癒証明書」ではなく、「通学届書」を提出することで、授業の公欠手続きを迅速にできるよう配慮した。

欠席時の「欠席メール」で現在の体調や感染症から復帰する日時等簡単に記入できるようにフォームを整えたことで、全教職員が欠席状況を把握でき、学生への支援に関わることができた。

3. 令和6年度の具体的な事業内容(短期大学)

	主な学校行事	保育者養成の取り組み	就職支援の取り組み	地域貢献の取り組み	入学定員確保の取り組み
4月	<ul style="list-style-type: none"> ○入学式、保護者懇談会 ○オリエンテーション ○東部校訓練生入校式 ○非常勤合同会議 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○自己点検・評価運営協議会 	<ul style="list-style-type: none"> *1.2年生合同集会 	<ul style="list-style-type: none"> *新入生研修会 *就職面談・面接指導 *就職ガイダンス *2年生就職試験対策講座 *東部校生就職ガイダンス 	<ul style="list-style-type: none"> *学生ボランティアの協力 	<ul style="list-style-type: none"> *指定校挨拶回り *幼児教育科「ホット・ニュース」発信
5月	<ul style="list-style-type: none"> ○学生交流会 ○後援会理事会 ○理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○火災等防災訓練 ○岩国市長特別講義 	<ul style="list-style-type: none"> *ようこそ先輩！保育実践力養成講座（保育所・認定こども園編） *lwatan 親子広場 *教育・保育実習連絡協議会 *2年生実習前学習（パネルシアター） *絵本読み聞かせ指導 *絵本100冊読みの実施 	<ul style="list-style-type: none"> *就職ナビ in いわたん *就職面談・面接指導 *就職開拓訪問 *2年生就職試験対策講座 	<ul style="list-style-type: none"> *lwatan 親子広場 *学生ボランティアの協力 *生涯学習公開講座 *岩国市との連携推進会議 *岩国商工会議所との連携推進会議 *高大連携協定校との連携推進会議 	<ul style="list-style-type: none"> *高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業
6月	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者懇談会 ○後援会総会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 	<ul style="list-style-type: none"> *1.2年生合同集会 *lwatan 親子広場 *教育実習Ⅱ *保育所見学実習 *近隣幼稚園児との芋の苗植え *近隣幼稚園児を招いての「お店屋さんごっこ」 	<ul style="list-style-type: none"> *フォローアップセミナー *就職面談・面接指導 *2年生就職試験対策講座 	<ul style="list-style-type: none"> *lwatan 親子広場 *学生ボランティアの協力 *生涯学習公開講座 	<ul style="list-style-type: none"> *高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス *広報誌「愛宕山」発行 *高校進路担当者説明会
7月	<ul style="list-style-type: none"> ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○自己点検・評価運営協議会 ○教職員全体研修会 	<ul style="list-style-type: none"> *lwatan 親子広場 *山口県保育者養成協議会総会 *1・2年生合同集会 	<ul style="list-style-type: none"> *就職面談・面接指導 *現職園長による面接指導講座 	<ul style="list-style-type: none"> *lwatan 親子広場 *学生ボランティアの協力 *生涯学習公開講座 	<ul style="list-style-type: none"> *高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス
8月	<ul style="list-style-type: none"> ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○短大・高水合同研修会 	<ul style="list-style-type: none"> *保育実習Ⅰ *施設見学実習 *学生自主実習 *lwatan 親子広場 	<ul style="list-style-type: none"> *就職面談・面接指導 *1年生インターンシップ実習 	<ul style="list-style-type: none"> *学生ボランティアの協力 *保育者対象研修会 *卒業生対象保育実践研修会 	<ul style="list-style-type: none"> *高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス *高水高校との合同OC
9月	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○FD研修会 ○クリーン・プロジェクト ○ハラスメント研修会 	<ul style="list-style-type: none"> *lwatan 親子広場 *保育実習Ⅱ or Ⅲ *ようこそ先輩！保育実践力養成講座（幼稚園・認定こども園編） 	<ul style="list-style-type: none"> *1年生インターンシップ実習 *就職ガイダンス(1年) *東部校生就職ガイダンス *就職面談・面接指導 	<ul style="list-style-type: none"> *lwatan 親子広場 *学生ボランティアの協力 *「親子で一日アドベンチャー」地域活性化ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> *高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス
10月	<ul style="list-style-type: none"> ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 	<ul style="list-style-type: none"> *1.2年生合同集会 *lwatan 親子広場 *2年生実習前学習(素話) *教育実習Ⅲ 	<ul style="list-style-type: none"> *就職面談・面接指導 	<ul style="list-style-type: none"> *lwatan 親子広場 *学生ボランティアの協力 *生涯学習公開講座 *「岩国祭り」学生ボランティア協力 *「親子で一日アドベンチャー」地域活性化ボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> *高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス
11月	<ul style="list-style-type: none"> ○大学祭「清流祭」 ○親守詩大会 ○後援会理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 	<ul style="list-style-type: none"> *lwatan 親子広場 *1.2年生合同集会 *大学祭 *近隣幼稚園児との芋の収穫 *1年生実習前学習(漢字・手遊び) 	<ul style="list-style-type: none"> *就職面談・面接指導 	<ul style="list-style-type: none"> *lwatan 親子広場 *学生ボランティアの協力 *生涯学習公開講座 	<ul style="list-style-type: none"> *高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス

12月	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○ノロウイルス対策研修会	*教育実習Ⅰ *中・四国保育学生研究大会 *ウィンターコンサート *プレカレッジ	*就職面談・面接指導 * (卒業生) 就職先アンケート	*学生ボランティアの協力 *第14回 Iwatan 親子フェスタ協賛依頼 *生涯学習公開講座	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業
1月	○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○保護者懇談会	*施設実習連絡協議会 *プレカレッジ *保育・教職実践演習研究発表会 *ようこそ先輩！保育実践力養成講座（施設編）	*就職面談・面接指導 *就職ガイダンス(2年)	*学生ボランティアの協力 *保育者対象研修会	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業
2月	○研究紀要の発行 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○自己点検・評価運営協議会委員会	*プレカレッジ *施設実習 *学生自主実習	*就職面談・面接指導 *1年生インターンシップ実習 *東部校生就職ガイダンス	*岩国市との連携推進会議 *岩国商工会議所との連携推進会議 *高大連携協定校との連携推進会議	*高校訪問 *高大連携授業 *広報誌「愛宕山」発行
3月	○学位記授与式 ○東部校訓練生退校式 ○同窓会入会式 ○理事会 ○法人連絡会 ○教授会、幼児教育科会 ○運営協議会、各部会、委員会 ○自己点検・評価運営協議会 ○自己点検・評価委員会 ○事業計画の総括と改善 ○自己点検・評価報告書の作成 ○アカデミー報告書の作成	*プレカレッジ *卒業記念コンサート *学生自主実習 *第14回 Iwatan 親子フェスタ	*就職面談・面接指導 *1年生インターンシップ実習 *東部校生就職ガイダンス *卒業生アンケート	*学生ボランティアの協力 *第14回 Iwatan 親子フェスタ *宮川澳男賞、地域貢献奨励賞表彰 *アカデミー実行委員会 *アカデミー報告書作成	*高校訪問 *幼児教育科「ホット・ニュース」発信 *高大連携授業 *オープンキャンパス

■【高等学校・付属中学校】

I 事業報告

建学の精神に基づく教育による人格の錬成を根幹に、堅実明朗な生徒を育成し、地域社会や国際社会に貢献できる、志の高い人物の養成を目指した。普通科においては、自己肯定感・有用感を高め、社会人としての基礎力の養成。六年制普通科においては、一人ひとりの夢や目標の実現とともに、国際社会で活躍する能力の養成。付属中学校においては、国際社会を生きるための視点や英会話力の養成を目指した。教職員においては、研修の充実やチーム担任制・校務支援システムの導入により、それぞれの教員の長所を生かしながら業務分担や学びあう環境を構築し、働き方改革を推進した。

今年度は全ての行事を事業計画通りに行うことができた。その成果として次の項目が挙げられる。

1. チーム担任制の導入により、学年全体で目配りや声掛けができ、より詳しい状況把握につながった。
2. 普通科のサタデープログラムがスタートし、体験学習を通して学びを深めることができた。また、土曜日に部活動ができるようになったことで、部活動が活性化した。
3. クラス(学年)通信の発行回数を増やすことにより、情報発信が改善できた。
4. 超過勤務への回復措置を見直し、働き方改革を進めた。
5. オーストラリア修学旅行中でのホームステイ実現により、円安、物価高騰の中にあっても実施できた。
6. 多くの部活動で大会上位入賞や優勝を果たすなど、指導の成果が結果としてあらわれた。
7. 授業時間数不足の生徒に対する特例措置を設け、進級、卒業への可能性を広げた。
8. DXハイスクール事業により、施設設備の充実と共にICT機器を活用した探究学習を取り入れることができた。
9. 老朽化した製氷機の更新、化学教室の補修工事、部室の修繕により、学校の安心安全の充実を進めることができた。
10. 大型備品の管理・整理により、環境整備を進めることができた。

II 事業内容

1. 学力の保障

(1) 教職員の資質向上

- ① 教員研修 年5回(1学期2回、2学期3回)

1. 教務事務処理

2. スタディサプリ活用研修会

3. 高大連携SWOT分析会 分析まとめ:別紙

4. 情報リテラシー研修会(2回)

5. 出張報告(復伝)

私学教育研修会・人権教育研修会・危機管理研修会・管理職研修会・P連視察報告

② 教科会議 原則、毎週1回実施

③ 教員相互授業参観2回(1・2学期)実施

・「主体的・対話的で深い学び」を取り入れた研究授業の開催

④ 校務支援システム導入(出欠席・成績・証明書類・入試)により生まれた時間を生徒指導へ

⑤ 高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)採択校 1000万円の補助金

ICTを活用した文理横断的・探究的な学びを強化するために必要な環境を整備

・プロジェクター設置教室のホワイトボード化

・ICT機器を設置し、グループ学習や遠隔授業、オンライン交流に特化した教室を整備

(2) スタディサプリの効果的、積極的な活用を再検討

(3) 放課後自習教室の充実

2. 人間力の向上

【高校】

特別活動(生徒会活動・学校行事)や部活動を通じた取り組みを実施した。

① 第16回楽学祭 9月26日(木)、9月27日(金) テーマ「Be Real ～今この瞬間を～」

※保護者、祖父母、本校生徒の保護者が同伴する兄弟姉妹の参観

② 第76回運動会 10月4日(金)

③ 修学旅行 六年制普通科 10月28日(月)～11月3日(日) オーストラリア

普通科2年生修学旅行 2月14日～17日、関東方面

④ 第43回山口県英語スピーチコンテスト 六年制1年、普通科2年 各1名出場

⑤ 部活動関係

○全国高等学校総合体育大会出場

空手道部(男子個人形・女子個人形)・女子ハンドボール部・水泳部

○全国高等学校総合文化祭鹿児島大会 ・ NHK杯全国高校放送コンテスト出場
放送部

○中国大会出場

女子ハンドボール部(優勝)・空手道部(団体組手・個人形 男子優勝、女子準優勝)

○第68回岩国市美術展覧会

美術部門 市議会議長賞・秀作3名

書道部門 教育長賞

○春の選抜大会

【付属中学校・六か年一貫教育】

特別活動(生徒会活動・学校行事)や部活動、校外活動を通じた取り組みを実施。

① 楽学祭 9月26日(木)～27日(金) テーマ「Be Real ～今この瞬間を～」

※保護者、祖父母、本校生徒の保護者が同伴する兄弟姉妹の参観

② 運動会 10月4日(金)

③ 30km遠足 10月31日

玖珂総合公園を出発し、由宇駅までの遠足を実施

④ 中六講演会 11月5日(火) アブラムシに関する最先端の研究について

京都大学大学院農学研究科特定助教の松田直樹氏(H22卒業)

⑤ 英語学習の充実

・岩国ミドルスクール来校 5月17日(金)

・岩国ミドルスクール訪問 5月24日(金)

・英語暗唱大会 9月13日(金)

・MC Perry High School 来校 11月5日(火)

・岩国ミドルスクールとのオンライン交流 11月25日(月)

・岩国市英語暗唱・弁論大会(J3の生徒1名が3位→山口県大会に出場)

⑥ 百人一首カルタ大会 1月29日(水)

⑦総合的な学習の時間

学年の前半

1年:高水訪問、スプリングセミナー 4月23日(火)・24日(水)実施。

2年:史跡めぐり 5月31日(金)

3年:オータムセミナー 11月13日(水) 広島平和記念資料館

学年の後半

6つのゼミでの学習活動実施(縦割りグループ編成)

中六合同発表会 2月17日開催

今年度は中高ともに学年の枠を超えた異学年で構成されるグループをつくり、各班が独自にテーマを決め、探究学習を行い、その成果を発表会でプレゼンし、皆で共有した。

⑧中2体験学習

・サマーセミナー 7月24日(水)～26日(金) 徳地青少年自然の家

・VR体験会 10月22日(火)

・14歳新たな誓い 3月10日(月)

3.キャリア教育の推進と進路指導の充実

(1)進路指導

①進路指導

外部模試を活用した客観的な学力把握

【高校】進研、全統、駿台、代ゼミ模試を実施し、模試検討会を3回実施した。

【中学校】学力推移調査を各学年春夏冬3回実施し、教科会議で検討を行った。

②進路研修会

高校保護者対象:各学年2回実施。

高校生対象:各学年2回実施。

③高校生対象

就職ガイダンス(夏季休業中)を実施。

④教育的配慮による進級、卒業対策

授業時間数不足対策として、診断書が提出された生徒に対して検討会議後、出席時数を1/2に緩和。

*令和6年度卒業生(148名)の進路

・進学者 101名(4年制大学 62名、短期大学 5名、専門学校 34名)、浪人生 7名

・就職者 34名(公務員 4名、民間 30名)、家居(未定者) 2名

・職業訓練校 4名

(2)キャリア教育

【普通科】

・R6に新設したアドバンスコースとキャリアデザインコースがスタート

・土曜日の授業を平日に移し、サタデープログラムを新設

洋菓子作り、ボランティア、ピアルッスン、eスポーツ、自画像のデフォルメ、歴史番組を堪能、

テーピングやメイク・ネイル等の体験、大学見学ツアー、学習室開放、部活動 等

【六年制普通科】

・授業時間確保のため、年度末の午前中4時間授業を6時間授業へ変更

・土曜日45分授業を50分授業へ

・周南公立大学出張講義5月27日(火)

・VR体験会2月25日(火)

・広島工業大学出張講義2月7日(金)

(3)地域貢献・ボランティア活動への参加

・子ども食堂・清掃活動・岩国まつり運営・愛宕地区文化祭への出展

4. 学校関係者評価委員会開催

外部委員5名から指導・助言を得た。

○今年度外部委員:

PTA:三浦留美氏、企業:藤井明宣氏、長島友愛氏、教育界:村田修一氏、地域:村上誠氏の5

名。

- 各学期開催(年3回水曜日) 6月5日、11月6日、3月12日
 - 6月 今年度の目標と地域連携について 効果的な広報
 - 11月 普通科の印象(先入観)改善方法
 - 3月 自己評価書を提出し、今年度の評価と次年度への改善策を願う。

5. 国際交流(グローバル化・異文化理解に向けて)

- オーストラリア 修学旅行 サザンクロス校との交流
- 交換留学実施(R5. 8~R6. 7) フランスからの女子留学生受け入れ
- ユネスコスクール高水の推進
 - ・愛宕地区社会福祉協議会の皆さんと共同で清掃活動実施計画(大雨のため中止)
 - ・岩国ユネスコ協会との連携
 - 平和の鐘を鳴らそう フクろう公園インクルーシブDAY 救命講習会 防災キャンプ 等
 - ・海外姉妹校との交流プログラム(ホームステイ受け入れ)

6. PTA研修旅行 10月15日(火)広島大学、広島コンピュータ専門学校

7. 入学定員確保

R7入学生

- 普通科97名(昨年132)
 - 入学者数減は一般入試減少の影響。普通科入学生の85.5%が、第1希望で入学している。
 - 特別入試71(部活動奨学生43、アドバンス奨学生2、普通科専願27)
 - 一般入試26(公立高校合格発表前の入学手続き12)
- 六年制普通科17名(昨年29)
 - 内16名は付属中学校からの進学
- 中学生30名(昨年17)
 - 内29名は専願入試合格

広報活動

【高校】

- (1)中学校進路説明会 6月初旬~7月初旬
 - 校長・教頭・主幹・広報(山下真実教諭)14校
 - (2)中学校訪問
 - R6. 7月 科長・中堅教員 広島五日市~周南市 41校
 - ⇒内容:入試、学校案内、オープンスクールへの案内
 - R6. 12月 校長・科長 広島五日市~周南市 41校
 - ⇒内容:入試説明
 - R6. 10月 部活動奨学生の勧誘
 - ⇒硬式野球・女子ハンドボール・男女バスケットボール・水泳・ソフトテニス・柔道・空手道の各部活顧問から26校105人の中学生に対して勧誘申請
 - ⇒校長→中学校長→担当者間の日程調整→保護者(生徒)への説明 43名受験
 - R7. 3月 今年度入試結果の情報収集と入学生の情報意見交換
 - ⇒普通科教員2名ずつ市内の中学校を訪問
 - (3)中学校教員対象進路説明会
 - 9月11日(水) 岩国市内、柳井・大島地区、西広島地区から26名参加
 - (4)塾対象入試説明会
 - 9月12日(木)9名参加
 - (5)オープンスクールの開催
 - 8月に2回実施 生徒271名 保護者125名 計396名参加
 - 昨年度は(8月・10月に3回実施)生徒388 保護者152 計540名
- 入試説明会 11月9日(土)
 - 学校紹介(学科・コース・学費等)・WEB 出願について・入試問題解説と対策・個別相談

参加人数

年度(R)	2024(R6)	2023(R5)	2022(R4)	2021(R3)	2020(R2)
参加生徒	61	74	113	53	74
保護者	55	55	63	19	32
入学生					
普通科	97	132	94	153	119
六年制	1	0	2	6	3

(6) 報道

「アイ・キャン」放送 青春発！ブカツ自慢 野球部 英会話部
新聞掲載
アイ・キャン等テレビ放送

【付属中学校】

(1) オープンスクール案内配布(5月)

- ・訪問 小学校15校を校長が訪問
- ・発送 小学校62校、塾31校
- ・ポスティング45, 158世帯(旧岩国市内、由宇、玖珂、大竹、小方、玖波、和木)

(2) 学習塾訪問 11月

(3) オープンスクール

内容: i 学校紹介 ii スタンプラリー(しおり作り、英語、理科実験、茶道、高水かるた 等)

○第1回 6月8日(土)実施 児童 29名(6年生 13)、保護者 36名

○第2回 8月4日(日) 児童 32名(6年生 15)、保護者 47名

○第3回 9月8日(日)実施 児童 23名 保護者 35名(6年生 8名)

全3回で 児童 計84名(内6年生 36名)

(参考) R5 年度実績 参加児童数: 全3回で計71名(内6年生24名)

R4 年度実績 参加児童数: 全3回で計91名(内6年生39名)

R3 年度実績 参加児童数: 全2回で計68名(内6年生28名)

※内容をスタンプラリー方式にして在校生との楽しい体験会に変更。質問コーナーも設けた。

(4) 入試説明会案内配付 小学校 63 校、塾 32 校

(5) 入試説明会

第1回10月 6日(日)児童(6年生)18名 昨年14名

第2回10月26日(土)児童(6年生) 9名 昨年 4名

※ 説明会をどのようにして知ったか。(複数回答可)

- ・小学校 4
- ・塾 5
- ・ホームページ 13
- ・インスタグラム 6
- ・オープンスクールに来て 8
- ・その他(BLEND) 1
- ・在校生やその保護者から 2

(6) 保護者対象学校説明会

毎週第3金曜日 午後6時～7時 説明: 星出六年制普通科長

実施日	4/19	5/17	6/21	7/19	8/16	9/20	10/18	11/15	12/20
参加人数	2	0	7	4	7	0	3	4	6

Ⅲ. 主な施設・設備整備事業の概要

【岩国短期大学】

○施設・設備の修繕を行った。

○3号館3階のプロジェクトを設置し、教育環境の充実を図った。

【高等学校・付属中学校】

- 校舎と校内の施設・設備の修繕を行った。
- 体育館の照明機器をLED化した。
- 施設整備の補修や修繕計画を立案し、実施に向けて計画書を作成した。
- デジタル人材育成支援事業による、設備整備を実施した。